

(ご参考：9/30) 経済関係ニュースレター (在シアトル総領事館)

ワシントン州日系企業・団体・レストラン関係者の皆様

在シアトル日本国総領事館経済班です。

本ニュースレターでは、当地の日系企業・団体、レストラン関係者の皆さまを含む在留邦人の方々へ、当地経済や日米関係等のニュースを「経済関係ニュースレター」として配信するものです。今後の配信を希望されない場合は、件名に「ニュースレター配信解除」と記入の上、こちらまでメールを返送ください。

本日の参考情報を以下のとおりお知らせします。

このニュースレターでは、多くの方にご利用いただける有益な情報の提供があった場合、情報元を示して掲示しています。なお、このことは、総領事館として、情報元の団体・個人をいかなる意味でも宣伝・推薦するものではないことを申し添えます。

本ニュースレターを追加で受け取りたい方が周りにいらっしゃいましたら、[こちらの登録フォーム](#)をご紹介ください。また、当地日系企業等に周知できる有益な情報などございましたらお知らせください。館内で確認し、公平・中立の観点から適切なものを本ニュースレター等で共有させていただきます。

在シアトル総領事館では別途、月2回の英語ニュースレター“From Japan to the Northwest”を配信しています。こちらでは日本に関する政治・外交等の情報や当館の活動などを発信しています。登録及び過去のアーカイブは[こちら](#)から。

## 1. 経済再開、地域経済関連ニュース

(1) ハリス米副大統領、安倍元首相国葬のため訪日、半導体産業の日本企業幹部とも面会  
カマラ・ハリス副大統領を団長とする米国代表団は、安倍晋三元首相の国葬に参列するため、  
9月26日に日本に到着し、同日夕に迎賓館で岸田文雄首相と会談した。会談後は夕食会が開かれた。

ハリス副大統領は会談で、安倍元首相死去に哀悼の意を示し、日米同盟の擁護者だった同氏の功績をたたえた。岸田首相はこれに謝意を表明し、両氏は安倍元首相の遺志を引き継ぎ、日米同盟のさらなる強化や「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向け、引き続き緊密に連携

することで一致した。そのほか、ロシアによるウクライナ侵攻や、中国、北朝鮮などの地域情勢についても意見交換した。岸田首相は、環太平洋パートナーシップに関する包括的および先進的な協定（CPTPP、いわゆる TPP11）への米国の早期復帰も促したとしている。

ハリス副大統領は翌 27 日午前、米国大使公邸で、半導体産業の日本企業幹部らと会合を開いた。副大統領は冒頭のあいさつで、CHIPS および科学（CHIPS プラス）法に関連して 4 つのカテゴリーについて議論したいと述べ、具体的には (1) 米国での半導体製造の後押し、(2) われわれが毎日使用している製品コストの低下、(3) 労働組合による高給の雇用創出、労働力の増加、労働者のスキル向上、(4) イノベーションへの投資と新技術の開発能力強化を挙げた。さらに、「このような活動で日本は非常に重要な役割を担っている。これは、米日両国で包括的な経済成長を遂げ、将来の混乱を防ぐための強靱（きょうじん）性を構築することにつながる」と述べた。

ホワイトハウスが 28 日に発表したリリースによると、会合では、日本企業による米国の半導体産業に対する最近および将来の投資や、研究開発での日米協力の促進などについて議論が行われた。ハリス副大統領は、日米の強固なパートナーシップと、それがいかに両国民の繁栄に寄与しているかを強調したとしている。(9/29 付け[ジェットロビジネス短信記事](#)、9/26 付け[外務省プレスリリース](#))

## (2) インズリー知事一行 10 日間にわたる北欧への貿易ミッションから帰国

インズリー知事と政府一行、ビジネス代表らはフィンランド、ノルウェー、スウェーデンへの 10 日にわたるミッションを終えた。再生可能な燃料、持続可能な海洋、ハイテック・コンピューティングなどの分野について見識を深め、経済的な連携を強めることを主たる目的とした。(9/23 付け[インズリー知事室ニュースレター](#))

## (3) ワシントン州で電動航空機の初試験飛行

27 日、ワシントン州アーリントン市のエビエーション社が、モーゼスレイク市において全電動旅客機の「アリス」号の初試験飛行に成功した。同機の搭乗人数は、パイロット 2 名、乗客 9 名の計 11 名で、計 4 トンとなる 2 万 1,500 個のリチウムバッテリーとエバレット市の MagniX 社製造による電動モーターが装備されている。エビエーション社では、プロトタイプとしての同機を元に、バッテリー技術を改善させて将来的な民間旅客機の開発を計画しているが、認証可能な航空機ができるのは 5 年後と見られている。航空業界においては環境に配慮した機材の開発が進められているが、電動航空機は飛行距離が 200~300 マイルの小型リージョナルジェット機に限定される見込み。「アリス」号はまずは年間 100 機の生産が計画されており、米国をはじめ各国から既に 100 機以上の受注契約を得ている。(9/27 付け[シアトルタイムズ記事](#))

#### (4) 西海岸の港とシアトル港湾労働者の争議

西海岸の港における労使交渉が、新たに改装されたシアトル港のターミナル5での業務振り分けをめぐる中断されている。国際港湾倉庫労働組合（ILWU）は、SSA Marine 社が運営する同ターミナルの特定の業務を別組織である国際機械工・航空宇宙労働組合に振り分けることを希望しているものの、交渉が難航している。ILWUでは、シアトルとタコマをはじめとする西海岸の29港における2万2000名の港湾労働者と70社の間の新たな労働契約に関し交渉中である。(9/27付け[シアトルタイムズ記事](#))

#### (5) シアトルとバンクーバーを結ぶアムトラック、パンデミックによる休止から再開

パンデミックと国境規制による2年半の休止の後で、シアトルとバンクーバーを結ぶアムトラック・カスケードのサービスが月曜日に再開した。しばらくの間、街を結ぶ1日1回の往復便が運行する予定。スケジュールは、シアトル7時45分発—バンクーバー11時45分着、バンクーバー17時45分発—シアトル22時10分着。人員と設備が整えば、2本目の往復便が計画される予定。(9/26付け[シアトルタイムズ記事](#))

#### (6) その他、ジェトロビジネス短信記事より

- ・9/29付け [米運輸省、全米50州のEV充電プログラムを承認](#)
- ・9/27付け [米エネルギー省、航空燃料の2050年SAF100%化に向けた工程表を発表](#)
- ・9/28付け [丸紅、米アラスカ州で非鉄金属探鉱事業を行うカナダのヴァルハラ株式取得で合意](#)
- ・9/27付け [武田薬品、米国企業とバーチャル電力購入契約（VPPA）締結](#)
- ・9/26付け [トヨタと米ケンワース、ロサンゼルス港などで燃料電池トラックの実証実験完了](#)
- ・9/30付け [日本ドラマの北米リメイクを目指す「ジャパン・コンテンツ・ピッチ」、3年ぶりの対面開催](#)

## 2. COVID-19 感染状況・ワクチン関連情報

### (1) 州内の感染状況 ([ワシントン州保健局ウェブサイト](#)より)

感染数（10万人当たり）	94.3（相当程度）（9/13～9/19の7日間平均。前週比+11.5）
新規入院者数（10万人当たり）	5.6（9/15～9/21の7日間平均。前週比+0.4）
死亡数（10万人当たり）	0.61（前週比-0.2）
新型コロナウイルス患者の病床占有率	7%（中程度）**（前週±0）

\* 10万人当たりの感染数が0～9.99の場合「低い」、10～49.99の場合は「中程度」、50～99.99の場合は「相当程度」、100以上の場合は「高い」と分類されている。

\*\* 病院占有率が5%未満の場合「低い」、5%以上10%未満の場合は「中程度」、10%以上15%未満の場合は「相当程度」、15%以上の場合は「高い」と分類されている。

(参考) キング郡の感染状況 (キング郡ウェブサイト ([COVID-19 コミュニティレベル](#)、[COVID-19 ダッシュボード](#)より))

感染数 (10万人当たり)	112.1 (9/19～9/25の7日間。前週比+12.1)
入院数 (10万人当たり)	3.2 (9/18～9/24の7日間。前週比+0.1)
死亡数	0.7 (9/17～9/23の過去7日平均)
新型コロナウイルス患者の病床占有率	4.8% (9/21～9/28の7日間平均。前週比+0.4%)
新型コロナウイルスコミュニティレベル ***	低い

\*\*\* CDCのガイドラインに基づく分類。新規感染数と病床占有率のデータを基に、「低い」「中程度」「高い」の3つに分類される。

### 3. 総領事館からのお知らせ

#### (1) 日本へのビザなし渡航、個人旅行の再開 (水際対策の緩和)

先週号でもお伝えした標記について、9月26日(日本時間)、10月11日午前0時(日本時間)以降に適用される新型コロナウイルス感染症に関する水際措置見直しの詳細が公表されました。

- 外国人の新規入国制限の見直し
- 査証免除措置の適用再開
- 検査等の見直し
- 入国者総数の管理の見直し

詳細は、[当館HP](#)をご参照ください。

#### (2) (再掲・期限延長) 館用運転手・官房業務補佐 (Driver/Administration Assistant) の募集

在シアトル総領事館では、引き続き館用運転手を募集しています。ご関心のある方は、[こちら](#)の募集案内ページをご確認の上、必要書類を送付ください。

#### 4. イベントのお知らせ

##### (1) 10/16、10/30 ライトハウス主催「日本の大学・専門学校 進学フェア 2022 秋（オンライン）」

ライトハウス主催により、恒例の日本の大学・専門学校進学フェア 2022 秋が 10 月 16 日及び 10 月 30 日にオンラインにて開催されます。

開催日時： 10 月 16 日（日）、10 月 30 日（日） ※アメリカ西海岸時間

開催方法： オンライン会議ツール（Zoom）を使ったライブ配信

※Zoom の URL はお申込み後、後日 E メールにて連絡されます。

登録： 参加は無料だが、事前登録が必要。

詳細や登録は [こちら](#) から。

#### 編集後記：

最近、イーストサイドに引っ越し、周囲の自然の豊かさに驚いています。ウサギやリスはもちろんのこと、先日は通勤途中に向こうから 2 頭のシカがそっと歩いてきて、その悠然とした姿に見とれるばかりでした。[コヨーテや熊の出没](#)も珍しくはないそうで、知ったつもりになっていたシアトル地区でしたが、日々新鮮な気持ちで過ごしています。

\*\*\*\*\*

（参考：在シアトル日本国総領事館）

- ・ [新型コロナウイルス関連情報](#)（全般的な情報）
- ・ [日本へ入国・帰国するすべての方へ ～日本の水際対策措置～](#)（9 月 7 日更新）
- ・ [2022 年経済再開・新型コロナウイルス関係情報](#)（3 月 1 日更新）
- ・ [新型コロナウイルス危機の影響を受ける中小企業・NPO・労働者への支援策一覧](#)（12 月 15 日更新）
- ・ [州保健局 新型コロナウイルス日本語ページ](#)

（注意点）

本情報は、ワシントン州の主要な行政機関や団体のウェブサイトの情報をもとに、その時点における当地日系企業・NPO・邦人労働者に役立つ情報を、皆様のご参考として迅速に日本語で届ける目的で発信しているものです。法的助言を構成するものではなく、法的助言として依拠すべきものではありません。実際の申請等に当たっては、該当するウェブサイトで最新の情報や詳細を直接ご確認ください。なお、当館として個別企業の申請書作成等の支援は出来かねますのでご容赦ください。

(免責)

本メール又は当館情報に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。

(領事メールについて)

当館では外国に3ヶ月滞在される在留邦人に対し、旅券法に基づく在留届、帰国・転出等の届出をお願いしております。本届けでメールアドレスをご登録いただいた方に対して、コロナに関する情報や各種安全情報を領事メールにてお送りしておりますほか、緊急時の安否確認を当館から行うためにも必要なものですので是非ご協力ください。詳細はこちらをご覧ください。

[https://www.seattle.us.emb-japan.go.jp/itpr\\_ja/zairyu.html](https://www.seattle.us.emb-japan.go.jp/itpr_ja/zairyu.html)

(Unsubscribe:本日系企業支援関係メールについて)

当館が把握しておりますワシントン州日系企業にお送りしております。今後、本メールが不要な方はその旨ご返信をお願いいたします。

\*\*\*\*\*

Consulate-General of Japan in Seattle

701 Pike Street, Suite 1000

Seattle, WA 98101

206-682-9107